

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	秘書事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	秘書広報課			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	須郷 和彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市長・副市長	意図	市長・副市長への正確かつ迅速な情報提供や日程調整など、諸々の業務を補助し、効率的な市政経営ができる状況を保つ。
事業内容	会議・行事への出席、関係各課との打ち合わせ、面会など市政経営上の業務の補助を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	多様化する市民ニーズや行政事務に対応するため、より正確な情報収集と連絡調整が必要となる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						算定式（成果指標の場合）
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・秘書業務で必要となる資料作成をマニュアル化している。 ・市長及び副市長が必要とする資料について、各課の協力を得て早期に準備できるよう努めている。 ・突発的な事象や経験のない事象については、国及び県の動向を注視するとともに、近隣自治体から情報収集し、細心の注意を払って対応している。 			
事務事業の総コスト(a=b+c)	27,126,197	28,798,249	27,967,447				
事業費(b)(円)	5,805,397	5,741,449	6,731,247				
うち一般財源	5,805,397	5,741,449	6,731,247				
職員給与と費(c)(円)	21,320,800	23,056,800	21,236,200				
人役・職員(人)	2.80	2.80	2.80				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)	1.80	1.80	1.80				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	昨年度に引き続き、時間管理の徹底を図るとともに、情報収集や危機管理に留意する。	③取組の課題	日程調整について、時間を細かく設定する案件もあり、予定時間の厳守や遅延のないよう努める。
②今年度(H28)に実施した取組	時間管理の徹底に努める一方で、緊急の事案に対して臨機応変に対応している。	④今後の改善計画	市長・副市長の公務が集中する時期に、決裁等の時間を確保することが困難な場合があるが、臨機応変に対応する。